



読むトコ

第13巻 第2号 (2024.7)



イベントの告知

大人向け朗読会 声で楽しむ むかしばなし

日付：8月23日（金）時間：午後1時から2時

定員：30名（中学生以上、小学生同伴可）

場所：新所沢まちづくりセンター2階 学習室2号

申込：7月23日（火）午前9時半より 新所沢分館カウンターまたはお電話で受付

内容：所沢や世界のむかしばなしを紹介する予定です。近くなりましたら館内のポスターにて詳細をお知らせします。お楽しみに！！



🍉 🍉 🍉 🍉 新所沢分館 ☎04-2929-1905 🍉 🍉 🍉 🍉

パネル展示 「もっと知りたい埼玉のひと」

新所沢分館前エレベーターホールにて「もっと知りたい埼玉のひと」パネル展示をおこなっています。さきたま出版会から紹介されている5人の埼玉の偉人をパネルで紹介。ぜひ本を手にとってみてください。

『おだかしゅんちゅう 尾高 惇 忠』 荻野勝正/著 (289.1/オ)

『ほんだ せいろく 本多 静六』 遠山益/著 (289.1/ホ)

『しもおさかんいち 下 總 皖一』 中島睦雄/著 (762.1/ナ)

『きたざわらくてん 北沢 楽天』 北沢 楽天 顕彰会/編著 (726.101/キ)

『しみず う さぶろう 清水 卯三郎』 今井博昭/著 (289.1/シ)



雑誌『毎日が発見』が2024年4月号をもって
有料紙媒体の発行を終了したことに伴い、
新しい雑誌 『MONOQLO』
が新所沢分館に入りました。



〇〇の日 おすすめ本紹介



7月 14日はパリ祭

フランス革命の発端となったバスティーユ牢獄襲撃の日になんで制定されたフランスの革命記念日。フランス映画を「^{パリ}巴里祭」と訳したことから日本ではパリ祭りと呼ばれる。

『フランス革命史—自由か死か』(235.06/マ)

ピーター・マクフィー／著 永見瑞木／訳 安藤裕介／訳 白水社

1789年から1795年に起こったフランス革命。特権階級の贅沢な暮らしの裏で市民は不況、飢えに苦しんでいました。亡命貴族たちの傲慢で横柄な態度、女性までも武器を持って備える日常、国が二分化する緊迫した状況、国外に逃亡しようとする国王など、フランス革命前後の流れが仔細に書かれています。



8月 1日はやっぱり家の日

「家が世界で一番大切な場所」と考えるホームファニッシングカンパニーのイケアが制定。日付は語呂合わせ「や(8)っぱりイ(1)エがいちばん」から。

『とにかくうちに帰ります』(B913.6/ツ) 津村記久子／著 新潮社

職場で使っていた愛用のペンが行方不明になった。犯人の目星は付いているものの確実な証拠が無く追及することができない。他にも、推しの疫病神と化した先輩と推しが被ってしまったり、豪雨で交通手段を失ったり…。社会に出て人と関わりながら仕事をする日々の中で起こる小さな出来事。

タイトルがじわじわと胸に染みていく一冊です。(単行本もあります)



9月 19日は正岡子規の命日(糸瓜忌)^{ヘチマ}

正岡子規は、明治35年(1902)9月19日に満34歳で亡くなりました。死の直前に庭のヘチマを題材に3つの句を詠んだことから、その命日は「糸瓜忌」と呼ばれています。

『正岡子規』(911.36/マ) 前田登美／著 福田清人／編 清水書院

22歳の時に喀血し、自分の命は長くないと感じつつも死に至るまで創作意欲と研究心を失わなかった正岡子規。そこには、生来の天真爛漫な性格、病に向き合う強い意志、そして、すでに名声を得ながらもなお死後の名誉を重んじる名誉心がありました。

親友の夏目漱石、愛弟子の河東碧梧桐、高浜虚子との交流をはじめ、幼少期の人格形成に影響を与えた人々や、彼を支え続けた人々についても興味深く書かれています。



読むトコ 第13巻 第2号

編集・発行：所沢市立所沢図書館新所沢分館（指定管理者 株式会社ヴィアックス）

発行日：2024年7月

〒359-1111 所沢市緑町1-8-3 ☎04-2929-1905